

平成26年11月4日

## 平成26年度 第5回 倫理委員会 議事録

開催年月日：平成26年10月31日(火) 17時30分～18時30分

出席者：磯部診療部長、高橋豊副院長、小林耳鼻咽喉科部長、縄手小児科医長、篠原薬剤科長、石井耕教授、相馬秀香氏、石井事務部長、五十嵐部長、金子総務課長  
欠席者：高橋テル子副院長、伊東循環器内科医長

受付番号26-15

課題名：「日本における COPD Uncovered：日本における COPD の経済的及び人的負担を  
実証するためのカルテ調査を用いた横断的試験」

(議事要旨)

1) 研究の目的等を福家呼吸器科医長より説明。

目的は、社会における生産性および患者のQOLにも影響を及ぼす慢性閉塞性肺疾患(COPD) についての日本における患者報告アウトカムを含む2年間の後ろ向きカルテ調査を行う。

調査内容：・ COPD治療の経済的な負担の水準の探索  
・ COPDが患者の日常生活 (QOL) へ与える影響  
・ COPDの重症度  
・ COPDが患者の生産性に与える影響 (COPDによる仕事の欠勤、体調不良での出社など)  
・ COPDに関する臨床情報(治療、入院、専門医受診)  
・ COPDの治療費  
・ COPDによる早期退職した患者数の推定

対象は、スパイロメトリーにより確定診断されたCOPD患者。

方法は、患者報告アウトカム (modified Medical Research Council(MMRC), Work Productivity and Activity Impairment Questionnaire-General Health(WPAI-GH),EQ-5D-L, COPD アセスメントテスト (CAT) ,COPD 午前中症状質問票を含む2年間の後ろ向きカルテ調査

実施場所：KKR札幌医療センター

実施期間は、倫理審査許可後～平成27年3月末日 (予定)。

審査を希望する理由は、『日本におけるCOPD Uncovered：日本におけるCOPDの経済的及び人的負担を実証するためのカルテ調査を用いた横断的試験』への当院からの患者紹介を目的に、審査を希望する。

## 2) 委員より質疑応答及び協議内容

- 以前にも謝礼として対象者へのQ U Oカードを渡すのは倫理上好ましくないという判断をしていたのでこれはやめてほしい。(高橋豊副院長)
- それは、可能です。(福家呼吸器科医長)

協議結果：Q U Oカード以外の件に関しては、特に問題が無いので承認とする。

### \*その他1

#### ・蘇生術を行わない(DNR)指示に関する指針について

医療安全委員会より当院において、蘇生術を行わない(DNR)指示に関する同意書を作成してほしいとの要望があり下記のとおり作成したので協議をお願いしたい。

DNRとは、終末期状態の患者で心肺停止時の対応で蘇生術を行わないことをいう。この蘇生術とは、心臓マッサージ、電氣的除細動、気管内挿管、人工呼吸器の装着、強心剤の投与など心肺蘇生のための全ての手技、処置、投薬を指す。

#### ○DNR指示を考慮する場合

患者、家族から要請(事前指示書あるいは口頭で明確な意思表示)が出された場合

#### ○DNRの決定

患者、家族(意思決定能力のない患者では家族のみ)、医療者で、客観的な医学的判断のもとに協議を行い、患者の意思を十分に尊重して決定する。患者、家族との協議には主治医を含めた複数の医師および看護師長または看護主任の同席を原則とし、協議事項は全て診療録に記載する。家族等から異なった意見が出された場合は、家族間での協議を優先する。

#### ○DNR指示の手続き

DNR指示が決定された場合、患者、家族は「心肺蘇生術を行わない要望書・同意書」に署名し、署名確認後に主治医、診療科部長、当該師長が署名する。

協議結果：特に問題が無いので承認とする。

### \*その他2

受付番号26-10(平成26年8月27日開催)、26-11(平成26年9月30日開催)については、協議内容が確認され承認を報告。受付番号24-1は、平成26年10月3日に開催された倫理委員会迅速審査により期間延長を承認したことを報告。

※ 次回：平成26年11月25日(火)17:30より  
健康管理センターにて行う。